

府中市立府中第七中学校



外観

「府中市立府中第七中学校」は、1968（昭和43）年に創立した市立中学校。このたび市の学校施設改築・長寿命化改修計画に則り、快適なトイレへ改修された。



男子トイレ 全体

男子トイレは、ビビットなエメラルドグリーンに、白い壁にはカラフルな鳥が飛び交い、楽しく明るい空間を演出している。

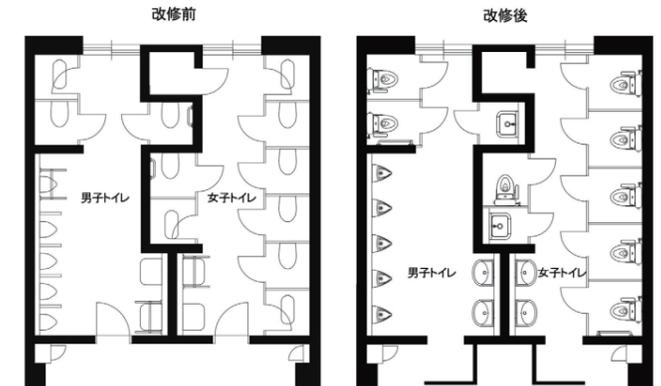


男子トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーには、衛生面に配慮し、節水効果も図れる自動水栓を採用している。

トイレ図面

改修前は和式便器が一部設置されていたが、改修後はすべてのブースに洋式便器とウォシュレットを設置し、快適性が向上した。



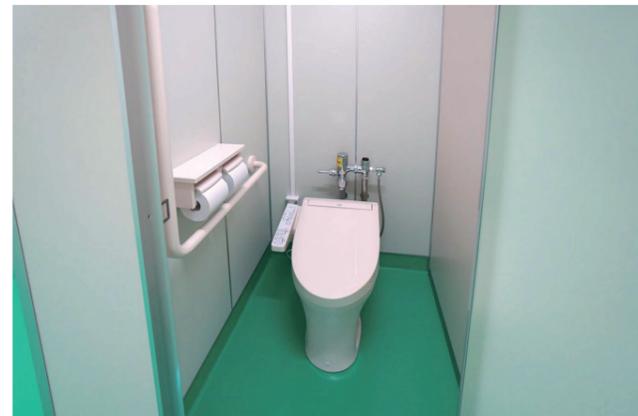
男子トイレ 小便器コーナー

小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置している。



男子トイレ 大便器ブース

使用状況を踏まえ、改修前より器具数を減らし、ブース内の空間を広げた大便器ブース。体格のよい生徒がゆったりと使えるように配慮している。



男子トイレ 大便器ブース

すべてブースに、洋式便器とウォシュレットを設置。ブースの1ヶ所には手すりを備えている。

水まわりの特長

改修の経緯

府中市では、令和2年度から4ヶ年計画で大規模改修整備方針に基づき、「全学的な施策として短期間で実施すべき大規模改修」として、校舎などのトイレについて、便器の洋式化や床の乾式化などの改修および感染症対策に伴う改修を実施。改修にあたっては、築年数や劣化状況に応じてグループ分けを行い、効果的な整備が目指されている。今回改修された「府中市立府中第七中学校」は、「自分で考える生徒 思いやりのある生徒 強い意志をもつ生徒」を教育目標にかかげ、1968（昭和43）年に開校。同校の改修では、第1グループの改修範囲である「便器の洋式化・温水洗浄便座の設置・自動水栓・床の乾式化」に加え、「壁の乾式化・便器の更新・配管の更新」を実施する、第2グループとしてのトイレ改修が実施された。

トイレの特長

学校は楽しい場所であり、トイレも同様であるべきという考えのもと、つい立ち寄りたくなる学校トイレを演出。自然光が入る大きな窓が活かされ、さらに、LED照明を取り入れた明るい空間には、鳥や花のイラストステッカーがあしらわれている。改修前は和式便器が一部に設置されていたが、改修後はすべての便器を洋式便器に変更。器具数を減らしてブース内の空間を広げることで、体格のよい生徒でもゆったりと使えるように配慮した。また、現在の生活様式にあわせて、家庭での普及率が高いウォシュレットをすべての大便器に設置。加えて、衛生面にも配慮し、洗面コーナーには自動水栓、小便器は床の清掃がしやすい壁掛型の自動洗浄小便器を採用。安心して気持ちよく利用できる、明るく楽しいトイレが完成した。



女子トイレ 洗面コーナー

女子トイレは、ビビットなルビーレッドの床に、壁面には花のモチーフをあしらった華やかな空間。洗面コーナーに設けたライニングには、手荷物を置くこともできる。



女子トイレ 大便器ブース

紙巻器は、小物置きスペースとして利用できる棚付二連紙巻器を採用している。



トイレ壁面イラスト

女子トイレの壁面には花、男子トイレの壁面には鳥のイラストステッカーに加えて、七中のイメージキャラクター「ナナコン」や音符、四葉のクローバーが隠されており、楽しく明るい学校トイレを演出している。

建築概要

| | |
|-------|------------------------------|
| 名称 | 府中市立府中第七中学校 |
| 所在地 | 東京都府中市武蔵台2-4 |
| 施主 | 府中市 |
| 設計 | 合同会社伊豆本建築設計 |
| デザイン | 合同会社伊豆本建築設計 |
| 施工 | 建築 八大建設株式会社 設備 株式会社紅葉丘工業所 |
| 竣工年月 | (改修)2022年7月 |
| 敷地面積 | 11,977.06㎡ |
| 建築面積 | 1,473.32㎡ |
| 延床面積 | 9,974.00㎡ |
| 構造・階数 | 鉄筋コンクリート造・地上5階 |

おもなTOTO使用機器

フラッシュバルブ式便器:CS140/ウォシュレットP:TCF587
ウォシュレットSB:TCF6623/棚付二連紙巻器:YH650
自動洗浄小便器:UFS900R/壁掛洗面器:L250CM